



江田島市

# 議会だより

〈元衆議院議長 故灘尾弘吉 書〉

2018年11月1日 第56号



中学生が「日頃考えていること」や「感じていること」について発表

## 主な内容

9月定例会・補正予算 ..... 2~3

賛否表 ..... 4

議員の出席状況 ..... 5

議長の動き・議会の動き ..... 6

一般質問(8人)・行政視察来訪 ... 7~12

7月豪雨の議会活動について ... 13

市民の声 ..... 14~15

まちかどフォトスケッチ ..... 16



# 平成30年 9月定例会

平成30年第3回江田島市議会定例会は、9月11日(火)から18日(火)までの8日間の会期で開かれました。

初日の11日には市長の市政報告および議長報告の後、5人の議員が一般質問を行いました。

2日目の12日には3人の議員が一般質問を行い、引き続き報告2件、監査委員の選任同意1件、専決処分承認4件のほか条例の制定1件、一部改正3件、工事請負



▲9月定例会

契約の締結、財産の無償譲渡等6議案が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

3日目の13日には一般会計他4会計の補正予算が審議され、原案のとおり可決、引き続き平成29年度の一般会計、特別会計、企業会計の計12件の決算の認定議案が一括上程され、決算審査特別委員会に付託された後、議員発議による意見書案が審議され、原案のとおり可決され閉会しました。

## 主な議案

### 条例制定・改正

**平成30年7月豪雨による被災者に対する市税の減免の特例に関する条例**

平成30年7月豪雨による被災者に対する市税(市民税、固定資産税および国民健康保険税)の減免について、現行の条例等とは異なる基準を定める条例の制定

- 納付済みであっても、被災後に納期が到来したものは減免の対象
- 被災証明書の被害の程度によって減免を受ける場合には、職権により減免
- 床上浸水以上の損害を減免の対象

**江田島市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例**

国や他の地方公共団体から、災害の応急対策や復旧等のために派遣され

た職員に対して、災害派遣手当を支給するための改正

- 給与の種類に災害派遣手当を加える。
- 災害派遣手当は、日額6620円を超えない範囲で、規則で定める。

**派遣された職員は江田島市の職員の身分を併せ持つのか。**

A 本市の身分を併せ持ちます。

**本市への滞在はどのようになっているのか。**

A 本市が借り上げた民間のアパートに住んでいます。

**江田島市葬祭センター設置及び管理条例の一部を改正する条例**

平成30年7月豪雨における市内外の被災者に対して、江田島市葬祭センターの使用料を減免するための改正

**適用した事例はあるか。**

A 呉市音戸町の2人の方が、このたびの災害で死亡され適用となります。

**江田島市税条例等の一部を改正する条例**

認可地縁団体等に対して課される市民税および固定資産税の減免規定の整備のための改正

- 収益事業を行わない認可地縁団体等について、市民税を減免する規定を追加
- 収益事業を行わない認可地縁団体が、集会所等を所有する場合に、固定資産税を減免する規定を追加

**江田島消防署能美出張所新築工事(建築)請負契約についての締結について**

- ①契約金額 2億347万2千円 (消費税込)
- ②契約の相手方 古澤建設工業(株)
- ③工期 平成31年6月28日まで

## 市有財産の無償譲渡について

- ①譲渡財産 旧沖保育園
- ②譲渡の相手方および時期 相手方 江田島市畑自治会 時期 江田島市畑自治会議会の議決を得た日以降
- ③譲渡の理由 「ひろしまとやま未来博2017」で改修された旧沖保育園を、地縁による団体と認可された江田島市畑自治会が、地域活性化のための交流施設として活用を希望したため。

## 地域活性化のための具体的な計画は。

A 聞いていませんが、以前から畑自治会が地域活性化のため使用しています。

## 改修費用はいくらか。

A 県の工事で約3千万円と聞いています。

## 報告

平成29年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率に関する報告

【健全化判断比率】

- ・実質赤字比率 赤字額なし
- ・連結実質赤字比率 赤字額なし
- ・実質公債費比率 6・1%
- ・将来負担比率 10・1%

【資金不足比率】

- 全公営企業会計で資金不足なし

## 委員の任命同意

監査委員として次の方を任命することに同意しました。(新任)

みうら かずひで  
**三浦 和秀**さん  
(沖美町三吉)

## 議員発議

●教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

## 歳入歳出補正予算

※千円単位の端数は四捨五入

会計名	補正増減(△)額	補正後の額	補正の主な内容
一般会計(第4号)	33億2,395万円	195億7,671万円	【歳入】 災害復旧事業に伴う分担金及び負担金、国庫支出金、県支出金、寄付金、繰入金、繰越金及び地方債の増額を計上 【歳出】 平成30年7月豪雨災害に伴う復旧費等の増額、人事異動等に伴う職員給与費の補正及び整備時期の調整による切申保育園整備費の減額などを計上
国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	190万円	37億6,590万円	【歳入】 前年度繰越金の増額を計上 【歳出】 平成29年度退職者医療交付金の返還金の増額を計上
介護保険(保険事業勘定)特別会計補正予算(第1号)	2,456万円	36億7,156万円	【歳入】 国庫支出金、支払基金交付金、県支出金、一般会計繰入金及び前年度繰越金の増額を計上 【歳出】 人事異動等に伴う職員給与費、介護保険料還付金、平成29年度分介護給付費交付金等の増額を計上
水道事業会計補正予算(第2号)	収益的支出 4,578万円	8億298万円	平成30年7月豪雨に伴う災害復旧費の補正
	資本的支出 5,439万円	5億4,008万円	
下水道事業会計補正予算(第2号)	収益的収入 2,167万円	11億4,730万円	平成30年7月豪雨に伴う災害復旧費の補正
	収益的支出 2,167万円	11億5,099万円	
	資本的収入 2,640万円	6億6,249万円	
	資本的支出 1,840万円	9億3,859万円	

【常任委員会】

委員名 開催日	総務常任委員会				文教厚生常任委員会				産業建設常任委員会								
	委	副委			委	副委			委	副委							
	酒永光志	胡子雅信	浜西金満	熊倉正造	岡野数正	山本一也	吉野仲康	上本一男	重長英司	角増正裕	長坂実子	登地靖徳	沖元大洋	山本秀男	上松英邦	花野伸二	平川博之
7月6日	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8月8日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○
9月21日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	欠	○	○	○	○
9月26日	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
9月28日	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【特別委員会】

委員名 開催日	議会広報特別委員会				
	委	副委			
	平川博之	角増正裕	登地靖徳	胡子雅信	酒永光志
9月4日	○	○	○	○	○



▲全員協議会

【議会運営委員会・全員協議会】

委員名 開催日	議会運営委員会					全員協議会																								
	委	副委				胡子雅信	沖元大洋	山本一也	登地靖徳	吉野仲康	酒永光志	長坂実子	角増正裕	重長英司	岡野数正	熊倉正造	平川博之	酒永光志	上本一男	花野伸二	沖元大洋	上松英邦	吉野仲康	胡子雅信	登地靖徳	浜西金満	山本一也	山本秀男	林久光	
	7月9日	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7月25日	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月27日	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月4日	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9月12日	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9月13日	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月26日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【災害対策支援本部会議】

本部員名 開催日	災害対策支援本部会議							
	部	副部						
	林久光	山本秀男	登地靖徳	胡子雅信	沖元大洋	山本一也	登地靖徳	吉野仲康
8月27日	○	○	○	○	○	○	○	欠

「部」は本部長、「副部」は副本部長を表しています。



▲災害対策支援本部会議

議員の出席状況

※各委員会等への議員出席状況です。「○」は出席、「欠」は欠席、「病」は病欠、「公」は公務欠席、「委」は委員長、「副委」は副委員長、「」は未開催日を表しています。

「○」は賛成 「●」は反対 「欠」は欠席

第3回（9月）定例会 賛否表（主なもの）

議案	議員名	結果	表決数	番号																
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
				長坂実子	角増正裕	重長英司	岡野数正	熊倉正造	平川博之	酒永光志	上本一男	花野伸二	沖元大洋	上松英邦	吉野仲康	胡子雅信	登地靖徳	浜西金満	山本一也	山本秀男
監査委員の選任につき同意を求めることについて	可決	17：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の報告と承認について（平成30年度江田島市一般会計補正予算（第2号））	可決	17：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の報告と承認について（平成30年度江田島市一般会計補正予算（第3号））	可決	17：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の報告と承認について（平成30年度江田島市水道事業会計補正予算（第1号））	可決	17：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の報告と承認について（平成30年度江田島市下水道事業会計補正予算（第1号））	可決	17：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年7月豪雨による被災者に対する市税の減免の特例に関する条例案について	可決	17：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
江田島市一般職員の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案について	可決	17：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
江田島市葬斎センター設置及び管理条例の一部を改正する条例案について	可決	17：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
江田島市税条例等の一部を改正する条例案について	可決	17：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
江田島消防署能美出張所新築工事（建築）請負契約の締結について	可決	17：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市有財産の無償譲渡について	可決	17：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度江田島市一般会計補正予算（第4号）	可決	16：1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	17：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度江田島市介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算（第1号）	可決	17：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度江田島市水道事業会計補正予算（第2号）	可決	17：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度江田島市下水道事業会計補正予算（第2号）	可決	17：0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



議長の動き (平成30年7月～9月)

Table with columns for month (9月, 8月, 7月) and date, listing various council activities such as graduation ceremonies, site visits, and disaster response meetings.

議会の動き (平成30年7月～9月)

Table with columns for month (9月, 8月, 7月) and date, listing council sessions, committee meetings, and reports.

9月定例会 一般質問 質問者 8人. A large vertical banner for the September regular session general questions, listing 8 topics and their respective council members.



答 市職員が一丸となって復旧に取り組む

酒永 光志 議員

酒永 災害の発生状況と被災額について伺う。

市長 人的被害は重症者2人、軽傷者2人の計4人です。住家被害は、全壊、半壊、一部損壊、床上浸水、床下浸水が計257棟です。公共施設の被害は10カ所、公共土木施設は386カ所、農林関係施設は47カ所、水道施設は63カ所、下水道施設は22カ所で、全体の被害額は33億円となっています。

酒永 これまでの復旧状況について伺う。

市長 7月6日に災害対策本部を、27日には災害復旧対策本部を併設し、市職員が一丸となり復旧に取り組んでいます。

酒永 砂防河川(長谷川・木下川)の復旧について伺う。

市長 長谷川では、被災箇所が10カ所、木下川は、

県管理分が23カ所、市の管理分が16カ所と、膨大な被災箇所となっています。復旧にはおよそ2カ年かかる判断をしています。

酒永 県道、市道、林道等の崩落箇所の復旧について伺う。

市長 是長地区の県道の崩落箇所については、年度内の完成を目指し、市道・農道は28カ所の通行

止め区間について緊急度の高い箇所から、仮復旧工事を実施中です。

酒永 地元に対する復旧等の説明会について伺う。

土木建築部長 被災箇所が多い木下川水系の復旧についての説明会は9月末までに実施します。

二次被害対策について

酒永 治山堰堤、砂防堰堤の保全整備について伺

市長 砂防堰堤の堆積土砂は、危険度の高い箇所から撤去し、堰堤を整備していかない溪流については、災害関連事業を活用し、計画的整備について県と協議します。

市長 非常用発電設備の

酒永 潮まわし等排水ポンプ場の非常電源の整備について伺う。

市長 県と連携をし、点検方法を検証し、被災施設の早期発見、適切な改修等、改善策を検討します。

酒永 砂防河川の早期点検、改修について伺う。

市長 県と連携をし、点検方法を検証し、被災施設の早期発見、適切な改修等、改善策を検討します。



# えたじま観光ボランティアの会の「解散」等について問う

熊倉 正造 議員

答 再組織の際には積極的に支援する



**熊倉** 来島する観光客の最前線で頑張っていた「えたじま観光ボランティアの会」が解散したという。市はこのことをどのように認識し、ガイド不在に対処するのか。

**熊倉** 「ボランティアの会」が再結成されたらどのように位置付け、処遇するのか。

**市長** 市として積極的に支援します。

**熊倉** 観光戦略チーム「一歩」における「ボランティアの会」の位置付けと具体的活用策は

**市長** おもてなしの担い手などを検討する分科会において、「観光ボランティアの会」に所属していた皆さまからご意見をいただきます。

**熊倉** 江田島市と江田島市観光協会との関係は

**産業部長** 補助金交付対象団体で補助金を年額約2300万円交付しています。

**熊倉** 交流観光課の分掌事務に「観光事業の指導」があるが、観光協会も指導しているのか。

**産業部長** 観光協会の職員に市に来てもらったが、市の職員が観光協会に出向いたりして相互に情報交換等を行っています。

**熊倉** 協会と観光ボランティアの会は、相互依存・密接不可分の関係である。このような関係であるべき一方が解散した状況をどう考えるか。

**産業部長** 両者が良い関係になってもらいたいと思います。

**熊倉** 観光協会においてここ1〜2年新たな観光客誘致のための施策が全くない、と言われている



▲観光ボランティアの会



答 復旧復興及び被災者支援に全力を挙げて取り組む

復旧計画の基本的な考え方は

**岡野** 7月に発生した豪雨災害は市内各地に大きな爪痕を残した。原因は過去に例を見ないような豪雨による土石流の発生や河川の氾濫によるものである。復旧に当たっては十分な検証に基づき、同レベルの豪雨でも耐えられるような復旧工事が必要と考えるがいかがか。

**市長** 被災した原因やメカニズムを解明し原因の除去を図った工法を採用し、再度災害を防止します。復旧復興計画につきましては、県と市が連携しながら各種災害関連事業を積極的に実施し、災害に強いインフラの再構築を図ります。

**市長** 被災した原因やメカニズムを解明し原因の除去を図った工法を採用し、再度災害を防止します。復旧復興計画につきましては、県と市が連携しながら各種災害関連事業を積極的に実施し、災害に強いインフラの再構築を図ります。

# 豪雨災害後の復旧計画。支援策は

岡野 数正 議員

答 復旧復興及び被災者支援に全力を挙げて取り組む

**岡野** 被災した原因やメカニズムの解明はどのように行うのか。

**土木建築部長** 専門業者により現地の被災状況を詳しく調査・考察し、原因を特定します。

**岡野** 今回の豪雨災害を教訓に再度災害を防止するため、原形復旧のみではなく「改良復旧」という視点に立った復旧計画とされたい。

被災者支援策について

**岡野** 災害救助法の適用や激甚災害の指定などで被災者に対する支援ができるようになったが、適用基準が厳しかったため対象にならない被災者もいる。そのような方への支援は

**市長** 市独自の支援策として、  
◎流入土砂等撤去事業補助金  
◎被災住宅の修繕補助金  
◎農地再生特例補助金  
◎事業者への利子補給制度

これらの多くの支援制度の周知と支援制度の申請漏れが無いよう、該当されている方への案内を進めてまいります。

**岡野** 各種支援制度には申請期限があると思うが、現在は復旧工事などで施工業者が足りない。期限内での申請が困難な場合の対応は。

**福祉保健部長** 被災者への支援するための制度ですから、期間延長も視野に

入れながら事業を推進してまいります。  
**岡野** 義援金の配分は、どのように考えているのか。

**福祉保健部長** 現在1次配分を行っており、床下浸水なども対象にしています。2次配分以降については県の配分を受けてからになりますが、本市の被災状況を勘案しながら委員会でも協議していきたいと考えています。

**岡野** 今後の配分には、被災対象者の拡充も含めて検討され、被災された方々への助けとなるよう配慮いただきたい。

# 給水活動の検証は

胡子 雅信 議員

答 給水拠点の変更を検討

更なるよう検討します。

**胡子** 自己水源が乏しいなか、災害時の井戸水マップを作成しては。

**市民生活部長** 今後研究したいと思います。

**胡子** 災害および復旧支援の情報発信は。

**市長** 避難所開設や避難勧告は防災行政無線や防災メール、防災ツイッターで発信しました。災害の全体概要や支援制度及び手続きは市HPやフェイスブックほか市広報紙やチラシを活用しました。情報の伝達不足や分かりにくさを起因とする大きな混乱は発生しませんでした。災害情報はより速報性・より正確性

の高い情報発信の手法を検討します。

大柿高校への新たな支援策の方向性について

**胡子** 市及び市教委の新たな支援策として①高校の魅力向上、②高校の魅力PR、③生徒の募集活動の3点を強化する方向性を示したが、具体策は。

**市長** 大柿高校の存廃は教育環境の整備や定住促進に大きな影響を及ぼす。高校と連携をはかりつつ、必要な支援策を積極的に取り入れ、存続に向けて全力で取り組みます。

**教育長** 魅力化コーディネーターを配置し、魅力アップ向上策、中高の連携促進、市内外の関係機



▲大柿市民センター給水所



# 水道事業の現状と課題について

角増 正裕 議員

答 よりよい水道事業を目指します



角増 平成30年7月豪雨の影響は。

市長 県からの送水が施設の破損で停止したことに加え、市内の水源についても泥水の流入や施設の破損により全て停止しました。前早世浄水場では県の送水再開により断水が段階的に解消しました。自己水源である三高浄水場はダムの水質や、ろ過池の機能が回復しなかったことから断水解消が遅れていました。その

角増 切串浄水場の復旧見込みは。

企業局長 ダムに7割程度土砂が堆積しているのに加え道路が崩落し150mに渡って水道管が破損しています。今すぐは無理ですが道路を修復する際には水道管も更新し復旧

角増 市所有導水管の更新費用は。

市長 平成30年1月に広域連携案を策定し4月には県と市町で協議会を設置して2年間を目標に広域連携の具体化を整理していく予定です。市としては、このような協議の中で、より良い水道事業を目指してまいります。

角増 天応く小用間の海底導水管の現状は。

市長 昭和38年に敷設した市所有の導水管と昭和50年に敷設した県所有の2本があります。市所有の導水管は耐用年数60年が目安ですが55年経過しています。現在、有事に備え県所有導水管を分岐して日量8千トン確保する工事を実施していま

## 各浄水場の1日当たり配水量（平成29年度）

名称	種類	配水量	豪雨災害後の現状
呉市の宮原浄水場	県水道用水	1,392	県の送水再開により復旧
前早世浄水場 (処理能力10,000t/日)	県工業用水	5,144	県の送水再開により復旧
三高浄水場 (処理能力2,000t/日)	自己水源	1,280	ダムの水質やろ過池の機能回復により現在は自己水源での運用を再開
鹿川浄水場 (処理能力500t/日)	自己水源	0	水質悪く豪雨前から配水停止
大原浄水場 (処理能力280t/日)	自己水源予備	0	豪雨で浄水不能。予備で非常時以外は配水停止。
奥小路浄水場 (処理能力300t/日)	自己水源予備	0	豪雨で浄水不能。予備で非常時以外は配水停止。
切串浄水場 (処理能力500t/日)	自己水源予備	184	電力会社の節電要請がある期間に稼働。豪雨の被害で現在は取水不能。
合計		8,000	うち太田川水系6,536 (82%) 市内の水源1,464 (18%)



答 マニユアルの整備、訓練で災害対応の実効性を高める

長坂 緊急時の職員初動行動はマニユアル化されているか。

市長 災害発生時対応の職員初動マニユアル、その他各種マニユアルを整備しています。7月豪雨でもこれらを基に、的確に災害対応に当たりました。災害対応活動の実効性を高めるため、毎年さまざまな訓練もしていま

長坂 業務の初動体制がマニユアル化されていないため、災害対応が混乱したと聞いた。市民の安全のために周知をお願いしたい。

市長 今回の様な勤務時間外の広域災害発生時、市外から参集は不可能である。参集できなかった市外居

長坂 市外から参集できない割合が高い。安全を考え、広島や呉と広域参集体制は作れないか。

危機管理監 職員の広域体制はありません。災害発生時、市町の状況を県に確認し、応援要請の判

長坂 市外から参集できない割合が高い。安全を考え、広島や呉と広域参集体制は作れないか。

市長 介護や家族の通勤・通学のため、市外から通勤せざるを得ない職員がいます。職員へのアンケートでは、災害予報時、ほとんどが市内の実家や知人宅に待機する対策をとるということです。居住場所より、市民サービス向上のために高い意識を持って働くことが最も重要だと考えています。

# 大規模災害時の市職員の参集体制は

長坂 実子 議員

答 マニユアルの整備、訓練で災害対応の実効性を高める

住の職員を把握したか。どのような指示をしたのか。

危機管理監 自分の配備体制を確認して行動を取るよう指示してまいりました。

総務部長 市外の参集対象職員が37名のうち、10名がその日のうちに参集できず、また市内では25名の未参集の職員がいます。

長坂 市外居住の職員に断をします。市外居住の職員へ、市内居住へ誘導・促進する対策は

長坂 市外居住の職員に対し、いざという時に来てもらえない不安の声、また、住民と労苦を共にしてほしいという声もある。市の対策は。

長坂 防災・まちづくりのため、多数の自治体があるため、市内居住のための誘導策を出している。何かできるか研究していないか。

総務部長 日々の業務の慣らばりで、市民に貢献していきたいと考えています。

# 地域の安全は地域で

上本 一男 議員

答 自主防災組織を支援する

上本 機能別消防団員について、市はどう考えているか。

消防長 このたびの災害においては、機能別消防団員は災害現場に赴いていただいたが、一番の目的は日中の消防力を維持することです。

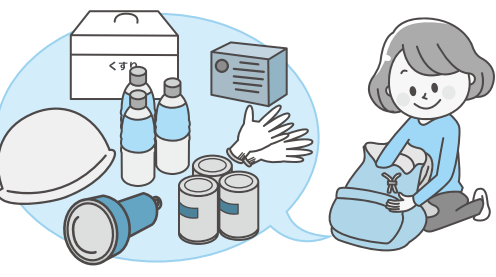
上本 防災リーダーと災害の兼ね合いについてはどうか。

危機管理監 現在江田島市では162名の防災リーダーがいます。防災街歩きで指導員と一緒に歩き、ハザードマップの作成をしております。その中で、危険箇所を見つけた場合は、担当課に連絡し、対処しています。

上本 鹿川く岡大王線の法面が、この度の災害で落石があり、通行止めになった。国からの石油貯蔵施設立地対策交付金がありながら対策ができていないのはいかがなものか。

土木建築部長 昨年、法面が不安定なため、地元からコンクリート擁壁を設置してほしいと要望があり、地元と調整している矢先に、このたびの豪雨災害で落石があり、通

行止めになりました。鹿川ターミナルへの道路は、メイン道路であり、重要性は充分認識しているので、パトロールを強化し、法面対策も検討し、また、石油交付金という地元に使える有効な財源があるので、一定の用途がつき次第、整備する方向で検討します。





# 7月豪雨の議会活動について



**平川** 被災住宅の取り組みについて問う。

**市長** 県と市が、連携を密にし、適切に維持管理を行うよう努めます。また被災された方に寄り添いながら住宅支援策についても、これまでの生活が取り戻せる様、全力で取り組みます。

**平川** 市内にある急傾斜地の点検はどのようになっているか。

**市長** 市内に急傾斜地崩壊危険区域は、15地区あり、管理は、県が行っています。この施設は、建設後50年を経過しており老朽化が進んでいます。県において平成25年3月に「広島県個別施設維持管理ガイドライン」を策

## 活動概要

月日	内容
7月12日(木)	議長、副議長が主な災害現場を視察
7月13日(金)	災害支援本部設置 市長へ申入書提出
7月18日(水)	災害対策本部へ情報提供(議会把握分)
8月1日(水)	議員2名派遣「見浪地区、前田地区浸水地区説明会」
8月7日(火)	議長、豪雨災害支援に係る御礼訪問 (JA呉・深田サルベージ・陸上自衛隊第13旅団)
8月8日(水)	議長、豪雨災害支援に係る御礼訪問 (廿日市市長・広島港湾・空港事務所所長)
8月10日(金)	議長、豪雨災害支援に係る御礼訪問 (市建設業協会・市社会福祉協議会・市管工事業協同組合)
8月23日(木)	議長陳情 関係する衆議院議員、参議院議員に災害に関する要望書を提出
10月12日(金)	市長へ今後の災害対応依頼 (議長・副議長・議会運営委員長・議会運営副委員長)

江田島市議会は、7月6日江田島市災害対策本部設置に伴い、本部の対応を支援するとともに、災害において迅速かつ適切な対応をはかるため、議会内に江田島市議会災害支援本部を設置しました。



▲能美町中町



▲江田島町長谷川



▲大柿町深江



▲沖美町木下川

## 答 全力で取り組み

### 平川 博之議員

定し、適切な維持管理を行ってまいります。最適な時期工法で修繕することにより、施設の長寿命化を図るものです。施設点検についても、5年1サイクルの定期点検・集中豪雨など必要に応じて緊急点検も行っています。今回の豪雨を受け、急傾斜施設を含む全ての点検も行いました。点検以外にも水路堆積物の除去、樹木伐採など施設の維持管理を行っています。今後も県と市が連携を密にし、適切な維持管理に努めます。

**平川** 被害に遭われた方への支援策は。

22棟、一部損傷108棟、床上浸水38棟、床下浸水81棟で合計257棟です。

3つ目は、「被災住宅修繕補助」です。土砂流入などによる一部損壊の方に対し、畳の張り替え・床・壁・窓などの修繕を対象としています。また、アパートの管理者なども対象です。

**平川** 被災住宅の取り組みで、今後どのような対策をとるのか。

**市長** 新たな取り組みで、市営住宅入居者を対象にNPO法人との連携で、家電の無償提供も予定しています。今後も住宅施策を通じ、これまでの生活が取り戻せるよう全力で取り組んでいく。

## 7月の豪雨災害等の取り組みは

## 行政視察来訪

### 東京都清瀬市議会

平成30年7月4日

清瀬市議会 清瀬自民クラブ7名が、「健康寿命日本一を目指す江田島市」についての視察に來られました。担当課から健康なまちづくりの取組等について説明し、意見交換を行いました。



### 宮城県議会

平成30年8月29日

宮城県議会 経済商工観光委員会8名が、「外国人市民支援の取組」についての視察に來られました。担当課から外国人市民の状況等について説明し、意見交換を行いました。



## 復旧に向けて

市の災害対策本部は8月14日に閉鎖し、続いて災害復旧対策本部を設置しました。議会としては、9月定例議会にて7月豪雨の復旧・今後の災害対策について6名の議員から一般質問がありました。今後も復旧に向け全力で取り組んでいきます。



# 市民の声

## ＝市民の声募集中＝

### 市政に思う

今回は地域おこし協力隊の皆さんに市民の声をお願いしました。市民の声を募集しています。  
《問い合わせ先》 議会広報特別委員会 ☎42-6310

#### 江田島の シビックプライド

地域おこし協力隊  
移住促進支援員  
後藤 峻



東京から江田島市に越してきて2年半がたちました。車があれば買い物や病院など日々の生活に困ることはないし、毎日海を眺めたり、夕日に感動したり、島の人たちと顔の見えるお付き合いもでき、予想以上に快適な暮らしを送っています。

か、要因はいろいろです。昨年、市内の中学校で話をする機会をいただいたとき、将来どうしたいか？という問いに対し「島に残りたい」と答えた生徒は31人中0人でした。みなさんはこの結果についてどう感じますか？

に言う「地域に対する市民の誇り」です。19世紀のイギリスで生まれたこの概念は、今の江田島市にとっても非常に重要なキーワードだと考えています。

島の良さわかるとるじやん。子どもたちはちゃんと自分たちなりの「シビックプライド」を持っているのです。明るい未来ある子どもたちが島を出ていくことを嘆くよりも、大人たちがこの島の誇りを自覚し、生き生きとした姿を子どもたちに伝えていくことが大事なのではないでしょうか。

#### ブランド請負人の 活動について

地域おこし協力隊  
ブランド請負人  
永田 秀平



江田島市地域おこし協力隊に就任して1年半が経過しました。私のミッションは、主に特産品に関わるものごとについてです。江田島市は「恵み多き島」と言われるように、農産物から海産物、工芸品に至るまで多くの地域資源に恵まれていると感じています。

た方法で、外に向けて見せていくのか、というアウトプットの点においては、まだまだ改善の必要性があると感じています。知ってもらえれば、とても良いと感じられる物も、そもそも知ってもらえなければ、その魅力は伝わりません。

既存の特産品だけではなく、新たに認定された特産品が、えたじまブランドを通じて、多くの方に知っていただき、江田島のことを好きになってもらえるような展開や施策を行っていく予定です。

しての1年半の活動で培ったこと、江田島市民の一人として自分にできることを積み重ねていきたいと思っています。

#### 地域のがえたじまん (島の自慢)

地域おこし協力隊  
オリープ普及員  
西村 京子



江田島市に移住して間もない頃、市の魅力を聞かれると「きれいな海」「夕日」「人の温かさ」の3つを答えていました。暮らして2年半たった今も変わらず大好きなところです。通勤途中の沖美町の海岸線、日々表情を変え海の色に朝の活力をもたらしています。

の日の疲れを癒してもしっかりしています。そして、3つ目の「人の温かさ」。もちろん常に感じていますが、今年の豪雨災害の時には、改めて強く実感しました。

顔を合わせて、近況を報告しあったり・・・まさに井戸端会議です。助け合い分かち合う。人の温かさとながら、絆、地域の底力を感じました。

オリープラー(10月6日～12月16日)を開催中です。協賛店を回って、オリープオイルを味わってください。栽培していない方も、ぜひオリープの輪に加わっていただき、一緒に盛り上げてくださいます。

#### 観光の充実が島をもっと豊かにすると信じて

地域おこし協力隊  
オリープ栽培技術指導員  
峰尾 亮平



江田島市に移住して2年半が経ちました。目の前に海、後ろを見れば山という素晴らしい自然環境のなかで島暮らしを楽しんでいます。豊かな自然の中でオリープを育てる。移住前、まだ神奈川に暮らしていた時にイメージしていた暮らしが、少しずつ少しずつ形になってきました。

でも好きになりました。だからこそ、この島と、そこで暮らす人たちが、これからも幸せであってほしいなと願っています。観光産業。江田島市において、もっとも伸びてほしい部分です。

ます。飲食店や宿泊施設が維持される、そこで働く雇用が生まれる、お土産が売れる、産産が活気づく、島に「移住したい」とやってくる人たちの仕事ができる、島で育った子供たちの島内での就職の可能性が広がる、航路が維持される、バスなどの交通機関が充実する、などが考えられます。

の魅力だけでなく、観光産業としての魅力もあります。オリープの飲食店やお土産屋で観光客を、収穫や農業体験で交流人口を生み出すことができます。





▲親和園敬老祝賀会 (江田島町)



▲八幡神社 秋祭り (能美町)



# まちかど フォトスケッチ

掲載写真  
募集中!

(問) 議会広報特別委員会 ☎42-6310



▲さとうみ科学館 給水所 (大柿町)



▲三高支所 給水所 (沖美町)

## 編集後記

平成最後の夏から秋にかけて豪雨、台風、地震など全国各地で災害が発生しました。  
犠牲者の皆さまに謹んで哀悼の意を表しますとともに被災地の皆さまにお見舞い申し上げます。  
江田島市においても7月豪雨災害では甚大な被害が出ましたが市民の皆様のご協力のもと復旧に向けて取り組んでいるところです。  
明るいニュースといえば、市内唯一の高校である県立大柿高等学校の来年度生徒募集が決定しました。  
全校生徒80人以上という大きな目標を達成するために、市民の皆さまも「地域の宝」である大柿高校への応援をよろしく願います。

議会広報特別委員会  
委員長 平川 博之  
副委員長 角増 正裕  
委員 登地 靖徳  
委員 胡子 雅信  
委員 酒永 光志  
委員 長坂 実子

次の定例会は12月です。お気軽に傍聴にお越しください。